

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	電子機械工学特別実験
科目基礎情報					
科目番号	93035		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	学修単位: 4	
開設学科	電子機械工学専攻M		対象学年	専1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	/ 講義の都度、適宜プリントを配付する				
担当教員	杉浦 藤虎, 佐郷 幸法				
到達目標					
(ア)ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる。(d) (イ)専門分野外の機能を理解し、相互協力によりチームで信頼性の高い安価な機能を実現する。(e),(i) (ウ)構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる。(e),(h) (エ)ものづくりの工程時に発生した問題に解決案を提案できる。(e) (オ)自主的、継続的なグループ作業を行った結果、企画から完成までの過程を総括し報告することができる。(f),(i)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力によりチームで信頼性の高い安価な機能を実現できる	課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力によりチームで信頼性の高い機能を実現できる	課題に対して、相互協力によりチームで信頼性の高い機能を実現できない		
評価項目(イ)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	生産システムを制御するための基本的なプログラムの開発ができない		
評価項目(ウ)	自主的、継続的なグループ作業を行った結果、チームとして企画から完成までの過程を総括し報告することができる	チームとして企画から完成までの過程を総括し報告することができる	チームとして企画から完成までの過程を総括し報告できない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 B1 豊富な実験・実習に裏付けられた基礎学力を身につける。 学習・教育到達目標 D2 口頭、文書、グラフ、図を用いて自分の考えを効果的に伝えることができる。 JABEE c 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 JABEE g 自主的、継続的に学習する能力 JABEE h 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力 JABEE i チームで仕事をするための能力 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力					
教育方法等					
概要	この科目は、情報化社会で必要不可欠なデジタル技術を、ものづくりの視点で基礎から学ぶことによって、実際の業務に必要な機械・電気・情報の幅広い専門知識と、専門外の領域への配慮とコミュニケーションを通じて、プロジェクトマネージャーとして必要な管理能力を学ぶ実習形式の授業である。本実験でのものづくり工程の経験を通して自主的、継続的に学習していくための能力を身につける。なお、全30週のうち、第15週(予定)の授業では、ものづくり企業の技術者から製造設備開発に必要な基礎スキルについて、実践的な技能研修を受ける。				
授業の進め方・方法	本実験は最初から最後まですべて学生が主体となって取り組み、ものづくり工程の経験を通して自主的、継続的に学習していくための能力を身につける。				
注意点	機械、電気、情報の3分野の学生と、企業技術者が共同して、一つのテーマに取り組む。必修				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
規制技術に含まれるものはない					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、安全指導、ものづくり工程の企画・構想	ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる	
		2週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		3週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		4週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		5週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		6週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		7週	要素技術研修(電子・機械・設計開発を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		8週	要素技術研修(電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
	2ndQ	9週	要素技術研修(電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		10週	要素技術研修(電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	

後期		11週	要素技術研修（電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして）	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		12週	要素技術研修（電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして）	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		13週	要素技術研修（電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして）	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		14週	要素技術研修（電子・情報・ソフトウェア開発を中心にして）	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		15週	要素技術研修（製品開発現場に必要な基礎知識(原価計算など)）	原価計算などの製品開発現場に必要な基礎知識を活用できる	
		16週			
	3rdQ	1週	プロジェクト実習	ものづくりのテーマの目標にあわせて，専門知識を用いた技術提案ができる	
		2週	プロジェクト実習	ものづくりのテーマの目標にあわせて，専門知識を用いた技術提案ができる	
		3週	プロジェクト実習	ものづくりのテーマの目標にあわせて，専門知識を用いた技術提案ができる	
		4週	プロジェクト実習	ものづくりのテーマの目標にあわせて，専門知識を用いた技術提案ができる	
		5週	プロジェクト実習	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		6週	プロジェクト実習	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		7週	プロジェクト実習	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		8週	プロジェクト実習	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		4thQ	9週	プロジェクト実習	ものづくり工程時に発生した問題の解決案を提示できる
			10週	プロジェクト実習	ものづくり工程時に発生した問題の解決案を提示できる
11週	プロジェクト実習		ものづくり工程時に発生した問題の解決案を提示できる		
12週	プロジェクト実習		ものづくり工程時に発生した問題の解決案を提示できる		
13週	プロジェクト実習		自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し，文書やスライドにまとめることができる		
14週	プロジェクト実習		自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し，文書やスライドにまとめることができる		
15週	成果報告会		自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し，その成果をわかりやすく発表することができる		
16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			課題(日報各5点，発表・報告書100点換算)	合計	
総合評価割合			100	100	
専門的能力			100	100	